

# 脳神経外科

部長

小笠原 邦昭 (おがさわら くにあき) 教授

■出身(大学・都道府県)／弘前大学・青森県

■専門分野／脳神経外科、脳血管障害

■得意分野／脳卒中の外科治療

■経歴／

1984年 弘前大学医学部卒、東北大学脳神経外科入局

1995年 広南病院(仙台市)脳神経外科

1998年 岩手医科大学脳神経外科講師

2001年 岩手医科大学脳神経外科助教授

2008年 岩手医科大学脳神経外科教授

■専門資格等／日本脳神経外科学会専門医、日本脳卒中学会専門医

■研究課題／虚性脳血管障害に対する外科治療の適応と合併症予防に関する研究

■研究概要／虚性脳血管障害に対する外科治療は症状の出現あるいは再発を抑えるための予防的外科治療であり、適応と合併症予防が最大の問題である。当科ではこれらについての臨床研究を展開しており、次々と新たな概念の提唱をしている。

■その他加盟学会等／日本脳循環代謝学会、日本頸部脳血管治療学会、日本脳神経外科コンgres



## 部長メッセージ

当科では脳神経外科疾患の分野別ごとに専門家を配し、すべての領域の脳神経外科疾患を経験できる体制をとっています。また、良い臨床医になるためにはリーチマインドが必須との考え方から、臨床研究を奨励しており、活発に行われています。初期研修は技術や知識を習得するものと思いがちですが、実はこれは後からでも何とでもなります。しかし、患者を前にした時のものの考え方は医師になってからの最初の数年間で確立されます。技術や知識よりも考え方を学ぶということを常に考えて研修することをお勧めします。



## 概要

脳神経外科学は人の尊厳の根幹をつかさどる脳・神経の外科的治療に携わる学問です。診療にあたってはその重要性を認識し、教室員・スタッフ一丸となったチーム医療で取り組んでいます。患者さんに最善の最もよい医療を提供することが、若手医師のより良い教育につながり、良い研究につながっていくものと考えております。教室は学則にもあるように、誠の人間を育成する『道場』と位置付けています。患者さんには一流の医療を提供し、内には有能な良医を育成し、外には世界に通用する研修を推進し、医学・医療の進歩発展に貢献すること目標に日々努力しています。

## 特徴・特色

当講座は、脳卒中や脳腫瘍医療の要となるべく努力を続けてきました。伝統的に脳循環・代謝に関する基礎研究、手術の技術に関する研究、画像研究が盛んであり、最近では大きな学会(脳神経外科学会総会、脳神経外科コンgres、日本脳卒中学会、日本脳卒中の外科学会、日本脳循環代謝学会、国際脳・脊髄動脈奇形学会など)を主催し、数多くの英語論文も発表してきました。また、近年ではパーキンソン病や脊髄・脊髄疾患への外科治療なども行っています。これからの研究・臨床を支えるのは若い医師で、特に研修医の医療教育と社会教育を責任持って行います。

## 私の研修時代

私の研修時代、すなわち医師免許をいただいてからの2年間は、24時間全く休みのない脳外科漬けの生活をしていました。2年目の4月の土曜日に半日休みをいただいて花見をした記憶があるだけです。常にon callでした(当時はポケットベル)。しかし、この状態でも夜はよく飲みに行き、決して仕事一辺倒の生活ではありませんでした。今考えると、この2年間の修行で培った考え方(決して技術ではありません)が、今の自分の臨床医としての技量を支えているといっても過言ではありません。

## 専門研修プログラム

### スケジュール概要 (専門医になるための必要経験年数、認定試験等)

- ① 4年以上 (社) 日本脳神経外科学会の正会員であること。
- ② 卒後臨床研修2年の後、学会認定施設の下で通算4年以上の研修を行う。
- ③ 筆記試験合格後、口頭試問による2次試験を行う。

### 修練概要

#### 診療経験

疾患の管理経験 (但し日本脳神経外科学会指定訓練施設での症例に限る)

脳血管障害	40例
脳腫瘍	30例
頭部外傷	20例
その他 (小児・脊髄・機能外科)	30例

#### 手術経験

- ・ 基本的手術手技 (穿頭術、脳室ドレナージ、シャント手術、開頭・閉頭手技、椎弓切除、顕微鏡下手技) で最低70例
- ・ 各疾患 (脳血管障害、脳腫瘍、外傷、脊椎・脊髄、小児、血管内手術、内視鏡手術など) の手術で最低65例

#### 業績

規定なし。

### 関連研修科に関する情報

専門研修中の他科ローテーションは可能。  
救急医学、神経内科、麻酔科などを考慮中。  
いずれも2ないし3ヶ月の期間。

### ライフプラン



注) 専門研修を選択した場合、学会で定められた訓練施設以外での勤務は専門医取得に必要な年限に含まれないので、研修病院の選択には注意を要する (脳外科を標榜している、または脳外科医が常駐していても必ずしも指定訓練施設とは限らない。)

### 認定医・専門医取得に必要な年限

(社) 日本脳神経外科学会認定施設の下で、通算6年以上の訓練 (3年以上は脳神経外科の臨床に専従)。